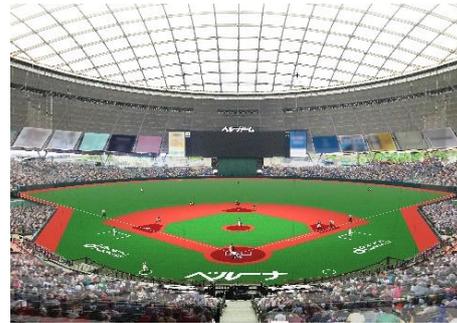




## 国内球場では初となる環境配慮型の人工芝を導入 ベルーナドームの人工芝を7年ぶりに張り替え 松井稼頭央監督率いる新生ライオンズ元年に足元を一新！



人工芝がはがされたベルーナドーム



新人工芝張り替え完了イメージ

株式会社西武ライオンズ(本社：埼玉県所沢市、代表取締役社長：奥村 剛)では、2016 シーズンから使用していたベルーナドームの人工芝を7年ぶりに張り替え、2023 シーズンから新たな人工芝を導入いたします。すでに着工しており、完工は2023年2月下旬の予定です。

新しく導入する人工芝は、ミズノ株式会社の「MS CRAFT BASEBALL TURF-V(エムエスクラフト ベースボールターフ ブイ)」で、2016 シーズンから2022 シーズンまで使用していたモデルから衝撃吸収性などが向上し、プレー時のけがのリスクや負荷が小さくなることが期待されます。また、光の反射を抑制し、プレー時の照明の照り返しが軽減されるほか、観戦するお客さまにとってはボールの視認性が向上するなど、より快適に観戦をお楽しみいただけます。

当社では、2020 シーズン初めにドームの照明をすべてLED化したほか、ゴミの分別を強化するなどして環境支援に積極的に取り組んでおりますが、今回の人工芝の最大の特徴として、環境に配慮した作りであることが挙げられます。近年、人工芝のパイルが細かくちぎれることによって発生するマイクロプラスチックが海洋汚染につながっている問題が指摘されておりますが、今回導入する芝は耐久性を大きく向上させたことにより、ちぎれを抑制しつつも品質を維持できるようになり、長期間にわたり使用可能になりました。

監督や選手たちは、春季キャンプを終えた来年3月上旬より新しい人工芝が敷設されたベルーナドームでプレーする予定で、試合で使用されるのは、3月8日(水)中日ドラゴンズとのオープン戦がこけら落としとなります。当社では、松井稼頭央監督率いる新体制のもと、新しいユニフォームを着用し、足元も一新して、15年ぶりの日本一を目指してまいります。

詳細は次項のとおりです。

### 【栗山 巧選手 コメント】※ミズノ社製の野球用具を使用

2016年に今の人工芝が張られて初めて練習をしたときは、守備のチャージがかけやすく、球際にハードにいける感覚でした。今回も同じミズノ社の人工芝で性能がアップしたと聞き、来シーズンもよい環境でプレーできることがうれしいです。松井新監督のもと、新しいユニフォームを着て、新しい環境でファンの皆さまの前でプレーできるのを楽しみにしています！

### 【MS CRAFT BASEBALL TURF-V の特長】

従来の人工芝に比べて、パイルの厚さが変わり、耐久性、長期安定性、衝撃吸収性、景観性が向上いたしました。

パイルの厚さ	従来品：280 $\mu$ m、本製品：400 $\mu$ m
耐久性	パイルの引張強度が従来品の約 1.7 倍に向上。パイルちぎれが少なくなり、海洋ゴミになりうるマイクロプラスチックの発生を抑制いたします。
長期安定性	スプリング構造をしたパイルがバネのような働きをすることで、へたりや倒れが少なくなり、充填材の締め固まりの抑制に繋がります。
衝撃吸収性	クッション性が向上し、身体への衝撃値が従来品よりも約 11%減少。選手の足にかかる負担を軽減いたします。
景観性	パイルの形状により光の照り返しが低減され、太陽光反射率が直毛人工芝と比べて約 48%軽減。直毛型人工芝ではなく捲縮加工型をとっており、形状がねじれているため乱反射シムラができにくく、ボールの視認性も向上いたします。

### 【お客さまのお問合せ先】

埼玉西武ライオンズインフォメーションセンター TEL:0570-01-1950 (平日 10 時～18 時)